

トラフグの放流について、下記内容で大阪府を通じて令和7年7月11日に報道提供を行いました。

栽培漁業センターで育った

トラフグの稚魚 3万尾を放流

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の水産資源を増やすため、トラフグやキジハタなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさまで成長させて放流する「栽培漁業」を推進しています。

このたび、トラフグの種苗が放流に適したサイズになり、下記により放流することになりましたので、お知らせ致します。

記

1. 放流対象種

トラフグ種苗（中間育成した種苗）

2. 放流尾数

計30,000尾

3. 放流日時、場所、および放流尾数

令和7年7月16日(水曜日) 11時00分～ 堺市 海とのふれあい広場

令和7年7月17日(木曜日) 11時00分～ 堺市 海とのふれあい広場

※ 放流尾数は、各箇所につき約15,000尾です。

4. 放流後の成長

翌年の1月頃には全長約25cm(約300g)まで成長し、大阪湾で漁獲され始めます。

5. その他

中間育成および放流については、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターの技術指導を受けています。



【放流するトラフグの稚魚】



【トラフグを放流する様子】